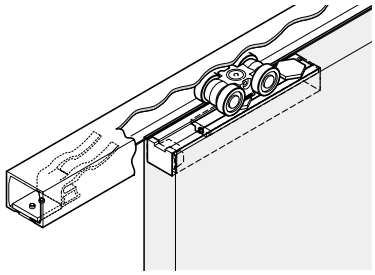
LAMP® 中量間仕切ドア用金具 FD-70B 型 取付説明書 PAT.P



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。
誤った取り付けは、思わぬけがをする恐れがありますので、本書の説明、注意事項をお守りください。
本製品は改良等により予告なく、寸法、仕様がかわることがあります。詳細は現品にてご確認ください。
本品の取り付けが終わりましたら、本書をユーザー様にお渡しいただき、いつでも取り出せるようにしてください。

■安全にお使いいただくために

⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。⃠記号はしてはいけない(禁止行為)であることを告げるものです。❗記号は、必ず従っていただく内容(強制、指示)があることを告げるものです。

⚠警告　この注意事項を守らないと、思わぬけが、周辺の家財に損害を与えることがあります。

⚠ 扉の反りなどにご注意ください。扉が反っていると、本来の動きを発揮できない場合があります。

⚠ 本製品の取付工事は、本書に従って知識・経験のある方が正しく行ってください。取付方法を誤ると、本来の性能が発揮できないばかりではなく、破損等による思わぬけがをする恐れがあります。

⃠ 本来の目的とは異なる使用方法や分解、改造及び本書に示す仕様以外の扉へのご使用はおやめください。仕様外の扉に使用したことによる事故、けが等につきましては、その責任の一切を負いかねますのでご了承ください。

⃠ 扉に無理な力を与えるような開閉はおやめください。故障の原因となります。

❗ 扉質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。強度の無い枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、扉の脱落を引き起こすことも考えられ大変危険です。

本書は、標準的な建具を想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。
したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。
施工業者様におかれましては、専門家としての確たるノウハウをお持ちのことと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて製作してください。
その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度は目を通してくださるようお願いします。
この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮しておりません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。

■仕　様

扉厚	扉高さ	扉質量（1枚当り）	扉高さ調節範囲
1本引きレール使用時…34mm以上 2本引きレール使用時…34～40mm	2400mm 以下	70kg 以下	上方向に1mm 下方向に4mm

■各部の名称および扉1枚当りの部品点数

部品名称	①上ローラー(専用スパナ付属)	②ハンギングブラケット	③エンドキャップ	④十字穴付きなべタッピンねじ 5×40（②に付属）	⑤ストッパー(六角棒スパナ 3付属)	⑥下ガイド	⑦十字穴付きなべタッピンねじ 4.5×16(⑥に付属)
部品点数	2ヶ	2ヶ	2ヶ	8ヶ	2ヶ	1ヶ	2ヶ
	FD-70B-WR	FD-70B-HB160	FD-70B-EC		FD-70-ST	RR-12	

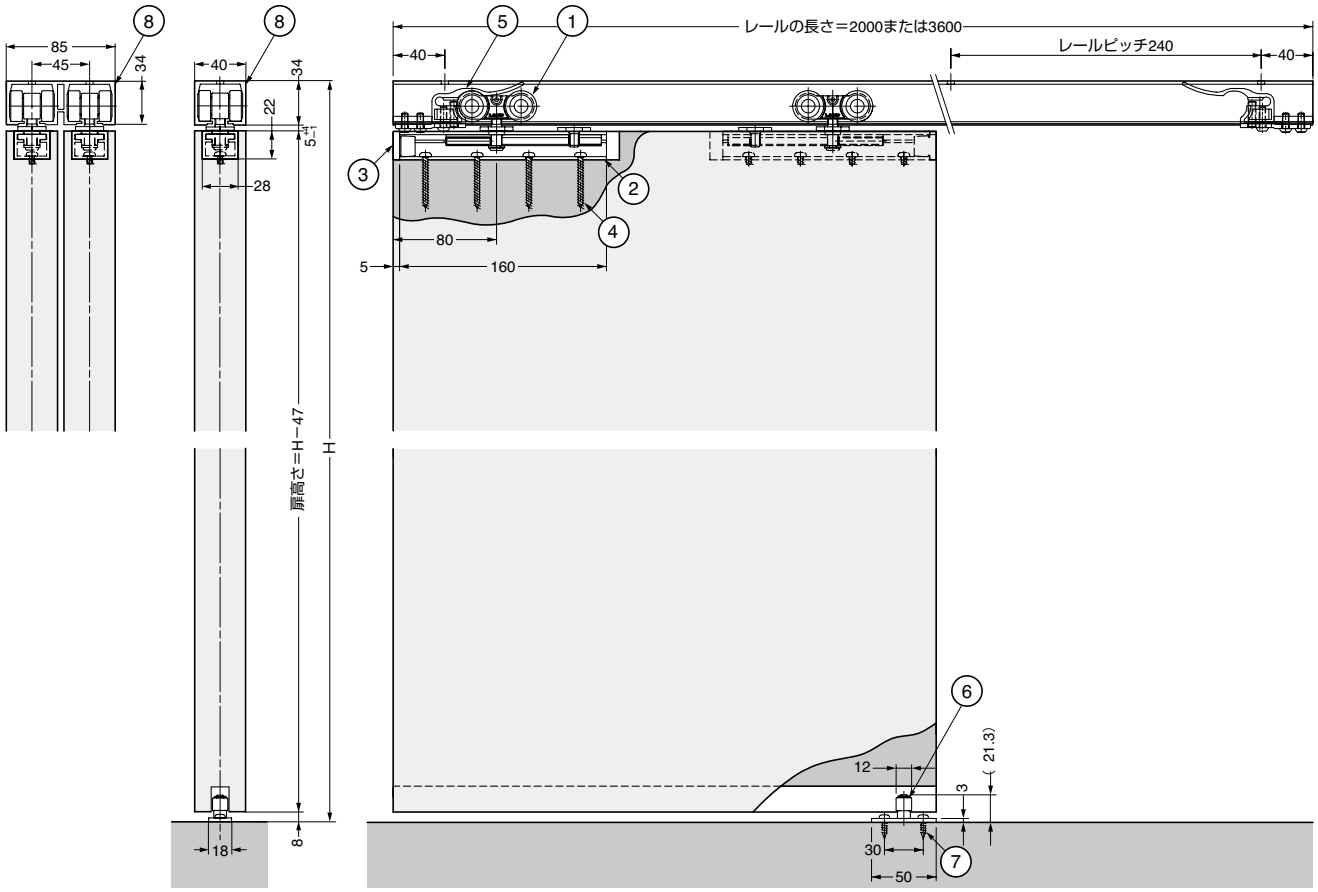
部品名称	⑧レール	
部品点数	1本	1本
	FD-70-2000SIL（2m） または FD-70-3600SIL（3.6m）	FD-70-W2000SIL（2m） または FD-70-W3600SIL（3.6m）

・レール取付ねじはお客様にてご用意ください。

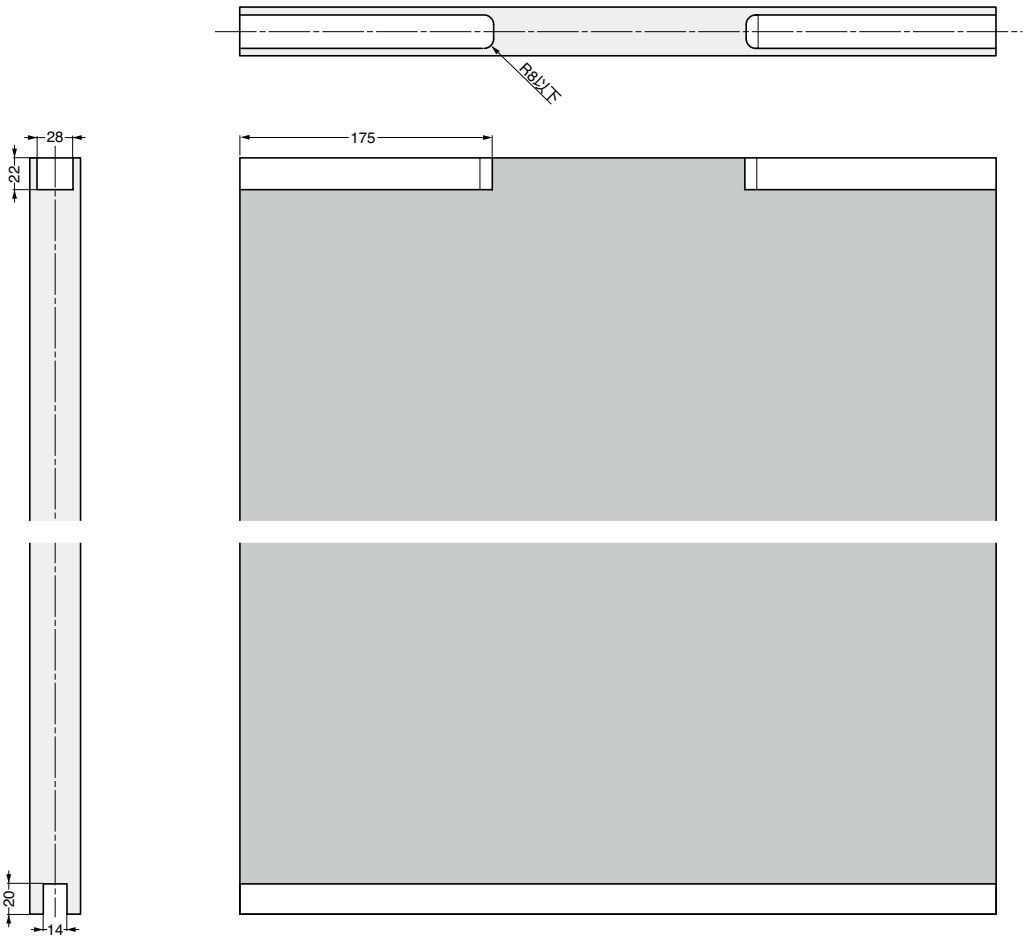
部品名称	戸当り(オプション)
部品点数	1ヶ
	FD30-HTKY

SUGATSUNE

■仕 様 図；標準仕様



■扉加工図

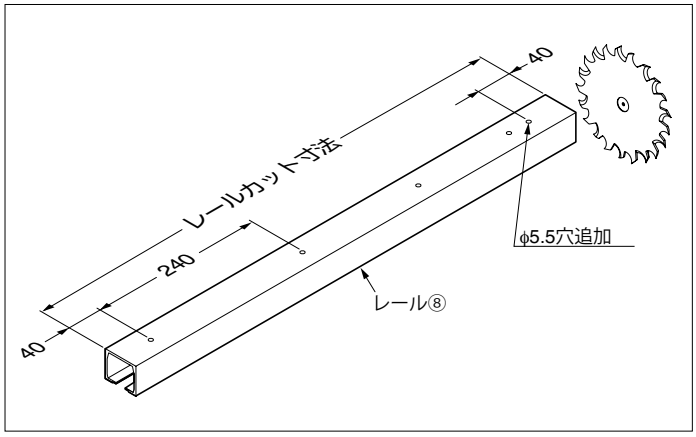


⚠ 下ガイド用の扉加工は、下ガイドが滑らかに動くように、処理をおこなってください。

SUGATSUNE

手順 1　レールの切断、穴加工

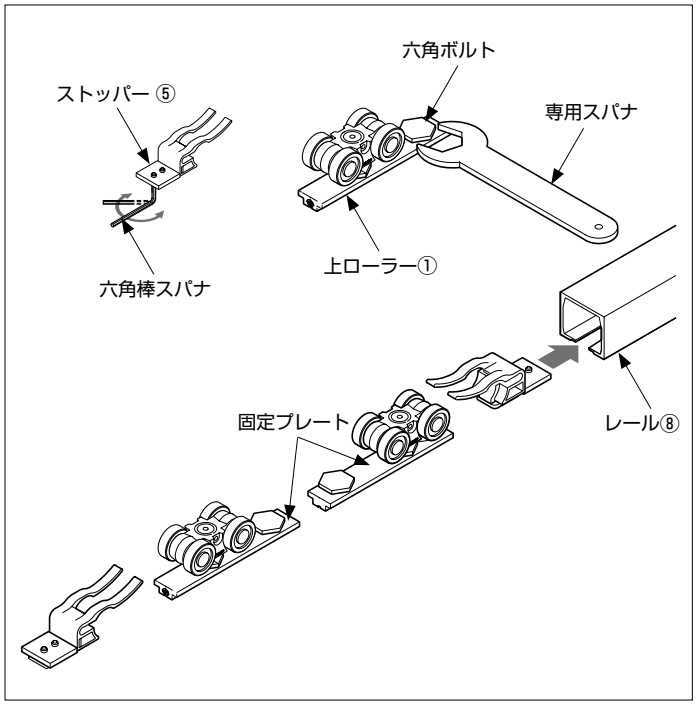
・レール⑧は必要な長さに切断し、切断面から40mmの位置にレール固定穴（φ5.5穴）を加工してください。
・レール内部にバリ、切り粉などが残らないようきれいに除去してください。



レール内に切り粉などの異物を残したり、ローラー等に異物が付着していると動作時にゴロゴロ音がする原因となりますので、切り粉などの異物を取り除いてください。

手順 2　レールへの部品組み込み、レール取り付け

・ストッパー⑤に付属の六角棒スパナ3を使用して、ストッパー⑤の六角穴付きボタンボルトを少し緩めてください。
・上ローラー①に付属の専用スパナを使用して、六角ボルトを少し緩めてください。
・上ローラー①とストッパー⑤をレール⑧内に入れてください。
・ストッパー⑤がずれないように六角穴付きボタンボルトを締めて仮止めしてください。
・レールを取り付ける上枠の面が水平で凹凸が無いことを確認してから、レール⑧を上枠に取り付けてください。

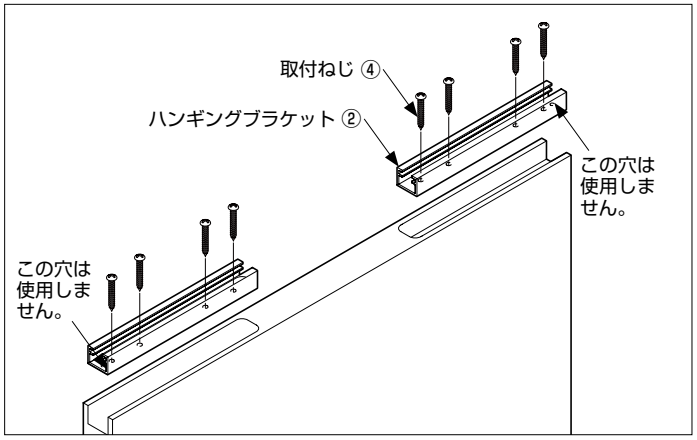


レール取付ねじは付属していません。お客様の方でご用意ください。
※推奨するねじは十字穴付きなべタッピンねじ呼び5です。

⚠ ストッパー、上ローラーの固定プレートの向きに注意

手順 3　ハンギングブラケットの取り付け

・下図を参考にして、ハンギングブラケット②を、取付ねじで扉へ確実に取り付けてください。
取付ねじ④：十字穴付きなべタッピンねじ5×40

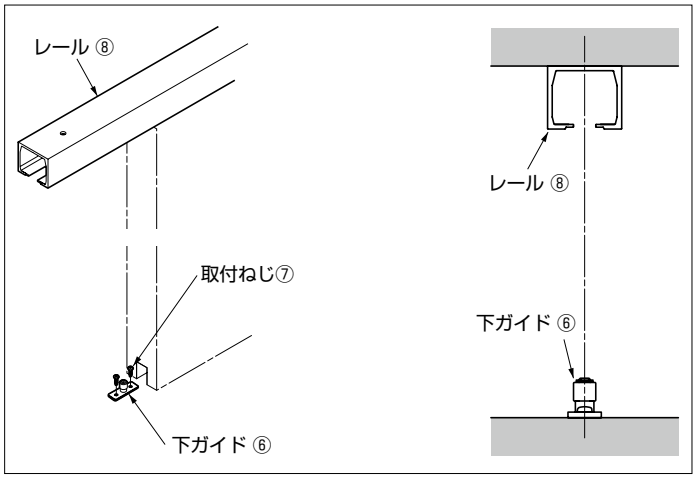


⚠ ハンギングブラケットの向きに注意

図の向きと同じになるよう確認のうえ取り付けてください。

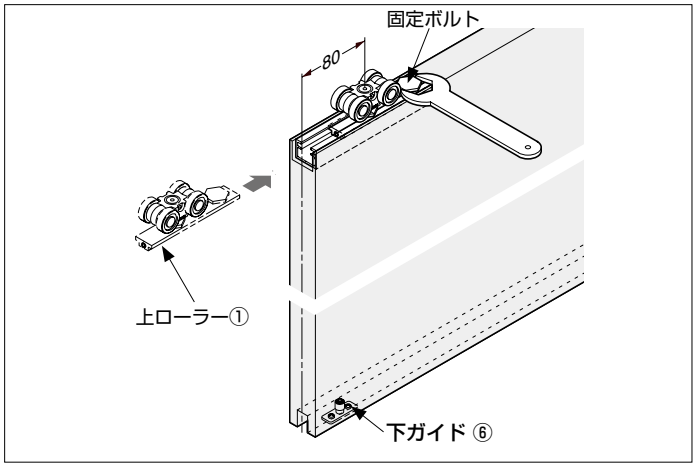
手順 4　下ガイドの取り付け

・下図を参考をレールの中心線の真下で、扉の開閉が行われても扉からはずれない位置に取り付けてください。
取付ねじ⑦：十字穴付きなべタッピンねじ4.5×16



手順 5　扉の吊り込み

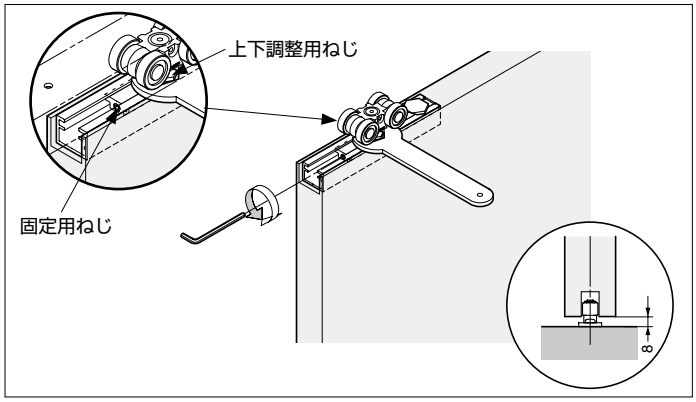
・扉を下部のガイド溝に下ガイド⑥をセットして立て、上ローラー①を扉に付いたハンギングブラケット②へ横から差し込んでください。
・下図の位置に上ローラー①を合わせ、専用スパナで固定ボルトを締め付けてください。



⚠ 扉を吊り込むときは、知識や経験のある方を必ず1人加えてください。

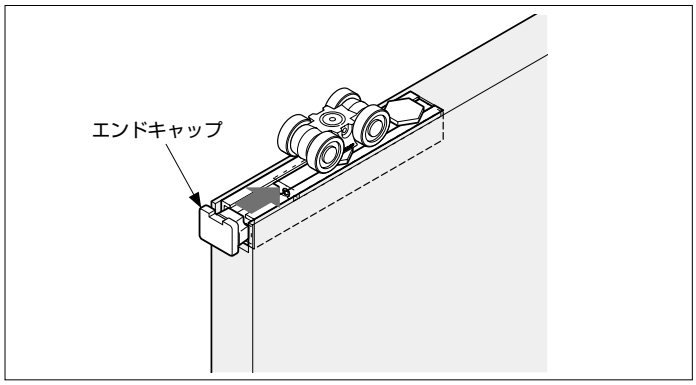
手順 6　扉の高さ調整

・上ローラー①の上下調整用ねじを専用スパナで回転させ、扉と床のすき間が8mmになるように調整してください。調整代は5mmです。
・上下調整が終わった後、上ローラー①の固定用ねじを六角棒スパナ3で締め付けてください。



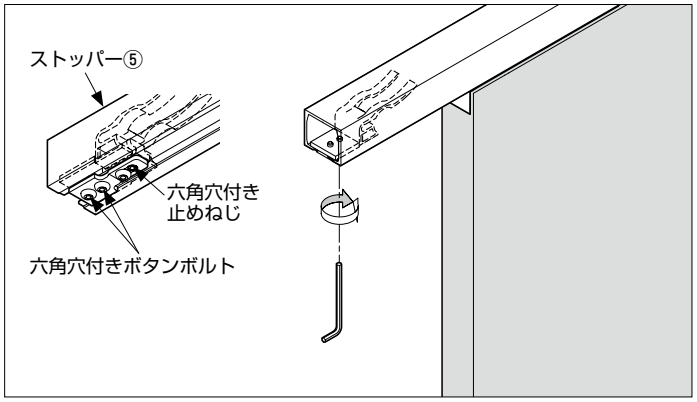
手順 7　エンドキャップの取り付け

・下図のようにエンドキャップ③を扉の両側に取り付けます。



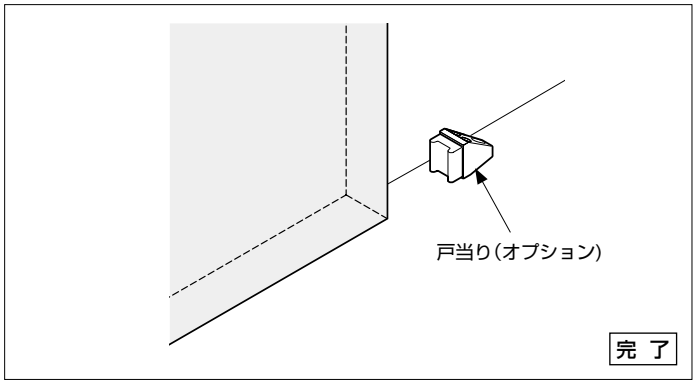
手順 8　ストッパーの固定・調節

・ストッパー⑤の六角穴付きボタンボルトを締め付けて、扉が枠に当たる位置に固定してください。
・扉の開閉操作を行い、走行状態を確認してください。

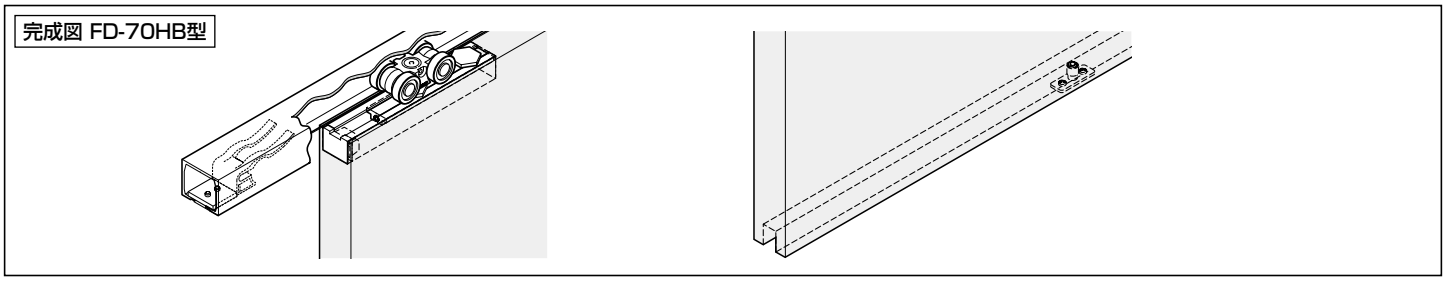


手順 9　戸当り（オプション）の取り付け

扉を縦枠に当てない場合、扉を止める位置には戸当りを必ず取り付けてください。オプションの戸当りをお使いください。



完成図 FD-70HB型



定期点検	・レール内の掃除をおこなってください。 ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	上レール内にごみやアルミの切粉が付いていませんか。	ごみやアルミの切粉を取り除いてください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、上ローラーを引き抜いてごみや切粉を取り除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	上ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	扉に反りが発生して壁やとなりの扉にすれていませんか。	反りのない扉をご使用ください。
	ガイドローラー用の溝がきれいに処理されていますか。	ガイドローラーが接する面に凹凸感がないように処理してください。 また、ごみなどを取り除いてください。
扉が開閉しない	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	上ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

アーキテクトサポート室　電話番号 **03（3864）1122**
受付時間　**月～金　9:00～17:30**（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001（JSAQ384）・ISO14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001:国内各拠点　※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/

2013.04　PRINTED IN JAPAN　0547-2